

2019年7月号

ほくし

発行所

一般社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

二〇一九年度総会

R元.6.25



六月二五日(火)、午後七時三十分より北区民センターに於いて一般社団法人大阪北区歯科医師会二〇一九年度総会が開催された。

定刻に西本常務理事より開会宣言があり、野口副会長より開会の挨拶が行われた。西本常務理事より点呼の結果発表があり、現会員数一七六名、定款第十八条による総会定足数は八八名。出席者三十三名、書面表決者五十一名、委任状提出者二十一名、合計一〇五名で会の成立が報告された。次に大塚会長が暫時仮議長を務め議長選出が行われた。石崎好洋先生が昨年に続き議長に選出され挨拶を行い、

議事録署名名人に七班阪本光伸先生、十班木下秀人先生が指名され報告事項に移った。報告事項の最初に物故会員および物故会員家族に対し弔慰黙祷が行われた。次に大浦専務理事より二〇一八年度会務報告、公益目的支出計画実施報告、二〇一九年度事業計画並びに収支予算について報告がなされ、続いて上田祐嗣選挙管理委員長より先の理事・監事選挙の報告が行われた。続いて新入会員の六班上田優貴子先生、九班西川典良先生の紹介と挨拶が行われた。議事に移り第一号議案二〇一八年度一般社団法人大阪北区歯科医師会会計収

支決算報告ならびに監査報告に承認を求める件について土岐常務理事より提案理由の説明がなされ、三輪監事による会計監査報告の後、満場一致で可決承認された。

次に二号議案理事・監事専任の件が行われ「選挙に関する規程七条」に則り理事・監事選挙が行われた。一般社団法人大阪北区歯科医師会選挙に関する規程第九条、理事選挙にあつては候補者が二十名以下のとき、監事の選挙にあつては候補者が二名以下のときは投票を行う、候補者全員が当選者とする。という規程に則り、候補者名簿の通り、候補者全員が当選した事が上田選挙管理委員長より宣言された。次に選挙に関する規程二十一条に従い異議がないかの問いかけに異議はあがらなかった。選挙結果を受け選挙に関する規程二十条に従い、「第九条による当選者を二〇一九・二十年年度の理事及び監事として選任すること」が大塚理事予定者より提案され、石崎議長より当選者全員を一括して理事及び監事として選任することの決議が述べられ、満場一致で決定された。続いて当選証書が代表して大塚理事予定者、野口監事、佐々木監事に渡され、代表



して野口監事より就任の挨拶が述べられた。その後、大塚理事予定者から、総会を暫時休憩し、臨時理事会を開催する事が提案され、一時休憩となった。

休憩が終わり臨時理事会の報告があり、次期会長に大塚俊裕先生が選出された事と役員分担の報告があり、大塚会長より挨拶が述べられた。

最後に佐々木副会長の閉会の挨拶、石崎議長の開会宣言により閉会となった。

続いて、大阪府歯科医師会国保組合北区支部総会、大阪府歯科医師連盟北区支部総会が行われ、国保支部長に阪本光伸先生、連盟支部長に戎彦彦先生の留任が満場一致で確定した。

パノラマ

天皇陛下が退位され平成時代が幕を下ろした。そして新元号(令和)元年を迎えた。この三十年あまり日本は長期の景気低迷、国際競争の激化、大規模な災害といった試練にさらされてきた。特に経済での逆風は強く、バブルは崩壊し世界を席巻していた日本企業は勢いを失った。国内総生産(GDP)は中国に抜かれ、一人当たりGDPの世界での順位は低下し、財政も著しく悪化していった。しかし、明治以降で戦争がなかった初めての時代でもあった。(令和)の文字の出典は日本最古の歌集万葉集で(初春の令月にして、気淑(よ)く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披(ひら)き、蘭は珮後(はいご)の香を薫らす)京都大学の阿辻哲次名誉教授によると、令月とあるのは素晴らしい月という意味。まさに天皇の代替わりに伴う季節感と、平和を謳歌しており(世の中を平和にさせる、という穏やかな印象にあふれている。世界が調和され平和が永遠に達成されているというメッセージが込められているのでは)と話した。文字どおりの時代になつてほしいものだ。(A)

第三次大塚執行部発足

新任理事に橋本哲志先生・ 市来正博先生・中長武史先生



会長
大塚 俊裕

二〇一九年度第一回総会において、会員の皆様のご支持と、執行部役員のご推薦により、伝統ある一般社団法人大阪北区歯科医師会会長に再選して頂き、三期目の会長の重責を担うことになりました。

黒川執行部、高麗執行部で叩き込まれた、「和をもって貴しとなす」をモットーに、会員の先生方のご意見を大切に、先輩諸先生方の教えを拝聴しながら、会内融和に努めてまいりたいと思います。

令和元年・二年度の理事には、新たに、橋本哲志先生・市来正博先生・中長武史先生に加わっていただくことになりました。新監事には、野口秀夫先生、佐々木裕先生に、顧問には黒川森夫先生、相談役には高麗

誠紀先生、奥野夏樹先生に就任して頂くことになりました。

歯科界を取り巻く環境は、ますます厳しさを増し、迫り来る超高齢化社会に向けて、歯科に求められる様相も変化し、支部一丸となつて、それにいち早く対応していく時代となつてきております。

学術部、医療保険部、医療管理部、地域医療部、広報部、福祉部など、各部の活動も歯科界の潮流に乗り遅れないよう、各部員の先生方とともに、会員の皆様にとってプラスとなる新たな情報をお伝えできるように、努めてまいります。

たいへん微力ではございますが、この二年間、新執行部の先生方とともに、一丸となつて、会員の皆様サイドに立ったキメ細やかな会務運営に努めてまいりたいと考えておりますので、旧に倍するお力添えをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



常務理事(総務・福祉)
西本 雅英



専務理事(総括・福祉)
大浦 寿哉



副会長(広報・会計)
三輪 佳子



副会長(医療管理・学術・税務)
中川 晴彦



副会長(地域医療・医療保険)
岡田 修二



理事(福祉・地域医療)
國田 浩之



常務理事(会計・福祉)
土岐 一仁



常務理事(地域医療)
樋口 春彦



常務理事(広報)
芦澤 亮治



常務理事(医療保険)
天羽 隆



理事(医療管理・福祉)
西川 尚範



理事(学術)
奥野 幾久



理事(医療管理・福祉)
橋本 哲志



理事(地域医療・福祉)
中谷 徹



理事(広報HP・福祉)
市来 正博



監事
佐々木 裕



監事
野口 秀夫



理事(地域医療・福祉)
中長 武史



理事(会計・福祉)
大西 秀威

新人理事

理事(地域医療) 中長武史

この度、理事を拝命いたしました四班の中長武史と申します。

私は二年前から、地域医療部の医科歯科連携事業として、北野病院にて「専門的助言」を行なっておりま。我々歯科が入った事により、当初に比べて既に入院患者の口腔衛生状態は向上しつつある様に感じています。超高齢化社会と社会保障の危機が叫ばれてきた『二〇二五年』はもう目と鼻の先ではありませんが、どこまで歯科が貢献できるか、大きな意義と志を持って事業に取り組んで参りたいと思います。

皆様のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

理事(広報HP) 市来正博

この度、広報HP、福祉の理事として就任させていただきました四班の市来正博と申します。

北区歯科医師会に入会させていだいてから十九年間、福祉部員や広報部員としてお世話になってまいりましたが、今後は微力ではありますが、理事の職責を通して、諸先輩方や歯科医師会への恩返しをさせていただきます。

学術講演会(会員発表)

「審美歯科治療成功に導くエビデンスに基づいた診査診断と治療計画」

医療法人 礫士会
DENTAL OFFICE OTANI

大谷 恭史先生

H31.3.25

三月二五日(月)、新進気鋭の大谷恭史先生によるフレッシユで、意義深い会員発表が大阪駅前第三ビル大阪産業大学サテライトキャンパスで執り行われました。

大谷恭史先生は、大阪大学の第一補綴科でインプラント学の研究を主に行なった後、第二のシリコンバレーと呼ばれるシアトル、ワシントン大学補綴科に留学され、さらに学術を探索されました。その時に最も苦労したことは、勉学や語学ではなくなんと「食事」。

分厚く硬いステーキや甘い

ばかりのケーキにずいぶんと悩まされたそう。アメリカの専門医トレーニングの特徴も話してくださり、カリキュラムの中で最も多く時間が割かれているのは「技術的トレーニング」であり、ずっと座学だけをやっていくわけではなく非常に実践的なコースとなっているそうです。上級生になると、診療→プレプレゼンテーション→技工(研究)の繰り返しの日だったそう。三年間の厳しいポストグラデュエートコースでのトレーニング期間、多国籍な仲間た

きたいと考えております。

まだまだ至らぬことばかりが多いかと思いますが、大塚会長はじめ諸先輩方のご指導を仰ぎながら努力してまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

理事(医療管理) 橋本哲志

理事就任のあいさつということで、駄文を書き綴っていききたいと思います。

私は歯科三代目に当たり、歯科医師会の恩恵を最も受けている者の一人なので、歯科医師会全体のために何か貢献をする責務があると考えています。年配の先生と麻雀をよくしているのを、敬語を使わず不快な思いをさせるかもしれません(皆さん若く見えるので)が、ご容赦ください。よろしくお願ひします。



ちと切磋琢磨し、アメリカの補綴専門医資格ならびにシアトル州での歯科医師免許を取得され、一度はアメリカで開業なさいました。

しかしアメリカの好景気の中、厳しい就労ビザの取得の壁に阻まれ、帰国後、北区でオフィスを構えることになったとのこと。

本日のタイトルでもある審美歯科治療についての話は、私の想像では多くの美しい症例が提示されるのかと予想していたのですが、いい意味で期待を裏切られました。まず、審美歯科治療とは、患者が求める美しい笑顔を歯科医師として提供することですが、審美的な笑顔の基準とは何かと聴衆に問いかけ、そのポイントと関連因子を一つ一つ丁寧に紐解いていかれました。



などの分析をしつかりと行い、その後に上顎中切歯の切端のポジションが重要であると説かれました。また年齢によって前歯部の露出は少なくなっていくため、Low, Average, High Smileのどれに当てはまるのかを診断し、上顎中切歯切端が下口唇に触れるか触れないかくらいに設定することが適切であると説明されました。また見落としがちなことですが、Low Smileにも関わらず歯間乳頭が見えるタ イプも多く存在しており、歯間乳頭の診査を忘れてはならないこともしっかりと述べておられました。次に歯間乳頭に関連する要素として、隣接面のコンタクトポイントの位置について述べられ、さまざまな論文を根拠に、軟組織の厚み、歯冠形態、歯間部の垂直的、

水平的距離の分析のもとコンタクトポイントを設定する必要性が説明されました。

これらの綿密な診査診断の後、やっと形成についての話があり、形成マージンはなるべく歯肉縁上に設定し、歯肉溝深くにはできるだけ設定しないこと、形成量は術前の診断のもと、綿密に行われるべきであることなどは、我々臨床医にとつて非常に基本的なことであり、やはり基本を制することが高度な歯科診療に繋がるのだと、納得させられました。

最後に聴衆へのメッセージとして

- ・補綴治療において、基準値をスタートポイントとして知っておくこと
- ・治療ゴールを綿密に設定しておくこと
- ・ビジネスでよく使われる用語、PDCA Plan・計画、Do・実行、Check・確認、Adjust・修正は歯科でも生きたる

の三点を述べられ、終演となりました。

美しいケースの裏には綿密な診査診断ならびに治療計画が隠れていることを再確認させられる良質な講演であり、評判も上々であったことを追記しておきます。

(学術部・大月基弘)

北区・大淀区歯科医師会合同学術講演会 「デジタルデンティストリーの潮流と どう向き合ふべきか」

枚方市開業・医療法人
山羽歯科医院 理事長

山羽 徹先生

R元.5.31

新しい令和という時代が幕開けて最初の講演会が五月三十一日(金)の夕刻に、梅田の大阪市立生涯学習センターにて開催された。今回は北区と大淀区歯科医師会の合同学術講演会で、枚方市で開業されている山羽徹先生に登壇して頂き、「デジタルデンティストリーの潮流とどう向き合ふべきか」と題して、デジタルデンティストリーについてお話頂いた。

歯科治療においてはデジタルというものには、縁遠いように感じるが、世間一般の多くの領域においてIT化が進んでおり、歯科界においてもCTレントゲンや技工におけるCAD/CAMのことを考えれば、すでにデジタルを利用していない歯科医師はいないという現状を説明して頂き、これからは、サージカルガイドや光学印象がより一層普及していくのではないかと見解をお伝え頂いた。

二年に一回の頻度でドイツのケルンで行われるインターナショナルデンタルシ



ヨー(IDS)の紹介と今年の報告もして頂き、今年のトピックは、デジタルに関する製品一色であったということであった。その上で、これからのデジタルデンティストリーにおいて、必要なのは、テクニクではなく知識であるという説明をして頂き、続いてデジタルを用いた治療方法について説明して頂いた。

従来の歯科治療の流れでは、印象や技工操作のすべてのステップにおいて変形が起こっているが、デジタルの流れでは、口腔内スキャンを行い、デジタルワックスアップ(CAD)を経て、加工機による制作(CAM)という流れになるので、変

形は少ないのではないかと見解を示された。印象採得に關してもデジタルの場合には、メリットとして、アルジネートと比べ正確性が高い、患者の不快感が少ない、チエアタイムが短い、再印象が容易、処置後の処理が早い、印象後の片付け時間が短縮される、廃棄物が少ないということ挙げられ、実際の印象の様子をビデオにて拝見させて頂いた。また、導入費が高いことや、撮影には習熟が必要、設置スペースが必要、デジタルの知識が必要、ラボにもデジタルの知識が必要、院内システムの構築が必要など、デメリットについても教えて頂いた。しかしながら、多くの補綴装置に対して適用できることや、工夫によつては歯肉縁下の症例においても精度が高いものを作成することができ、実際の症例においてデジタルの方が精度が高かったことも報告されておられた。メタルクラウンの症例などは、メタルミリングを無理に使用するのはなく、ワックスをミリングし、鑄造することで精度が高いものを作成することが可能であることや、インプラントの症例において、サージカルガイドをCTイメージと口腔

内スキャンイメージを重ね合わせ作成することが可能なことや、補綴装置を作成する場合のスキャンボデーを用いた印象方法や、前歯部における歯肉縁下の形態の記録の方法やタイミングについて実際の症例を用いてお伝えして頂いた。

技工所との連携の注意事項についても教えて頂き、ハードウェアとソフトウェアをどこまで揃えているかを知っておかないといけないということや、SNSや遠隔ソフトを使用することでより効率よく連携ができるということも説明して頂いた。今後の展望として、保険収載の可能性があるため、機能の向上と安価な製品が登場する可能性があることや、矯正治療への適応拡大がされるのではと話されていた。

現在の日本の状況としては、セレクト以外の普及は二千台ぐらいと言われているため、デジタルの普及はまだまだだが、早くに取り入れるのはよいかもしれないと提案され、診療所の形態によつて導入時期を考えるとのがよいのではないかとしめくくられ、令和の時代の歯科治療の将来が垣間見えた講演であった。

(学術部・須田剛義)

要介護者口腔保健指導推進事業

要介護者口腔保健指導推進事業が平成三十年十二月六日(木)と十三日(木)の二日間、当会と大淀区歯科医師会と合同で、北区菅栄町にあるデイサービス桜花てんろくにて開催されました。

この事業は介護施設(デイサービス施設)において、積極的に利用者へ機能的口腔ケアを勧めていただける職員を増やすため、地域医療介護総合確保基金を活用した大阪府の補助事業として、平成三十年度からの三年間実施される、機能的口腔ケア研修事業です。他の介護施設からも四人の施設職員の方々が参加され、まず最初に当会の大塚会長が挨拶とこの事業の簡単な説明をされ研修が始まりました。

十二月六日(木)の一日目は当会の岡村先生が講師になり、また、さらに歯科所属の歯科衛生士三名が中心になり研修を行いました。施設利用者の方にチェックシートを書いてもらい、(1)嚥む力について、(2)飲み込みについて、(3)唾液についての三項目いずれかに問題があるかを確認後、それぞれ個々の方々に健口リハビリ日記を作成し、それ

ぞれに合った機能的口腔ケア方法で研修しました。その後、見やすいパネルを用意して、食前体操、舌トレーニング方法などを施設職員の方々に詳しく説明を行いました。最後に講師となった岡村先生と大淀区歯科医師会の重松先生が、施設職員の方々に機能的口腔ケアの説明とまた質疑応答を行い一日目の研修は終了しました。

十二月十三日(木)の二日目は大淀区歯科医師会の重松先生が講師になり、「誤嚥性肺炎を予防するための口腔ケアの方法と実践」という題目で講演を行いました。講演中、介護職員の方々の質問にも丁寧に答えられ、最後に大淀区歯科医師会会長梅垣先生の挨拶で研修は全て終了しました。

二日間の研修を経て、職員が利用者に機能的口腔ケアを積極的に勧めていただけるようになり、利用者の低栄養予防、誤嚥性肺炎の予防、フレイル予防、そして、身体機能の維持、向上に繋げていただけるようになれば幸いです。

(担当理事・國田浩之)

税務申告説明会開催

H31.1.28

一月二八日(月)、午後六時より大阪東急REIホテルに於いて、税務申告説明会が開催されました。

西川担当理事の司会で、大塚会長の挨拶で始まり、北税務署中森副署長の挨拶後、内野個人課税第一部門統括国税調査官と矢野資産課税部門統括国税調査官により、確定申告時の留意事項、二〇一九年一月からスタートしたスマホを利用しての申告、

昨年地震・台風のような災害時の控除についてお話がありました。

スマホでの申告は年末調整済みの給与所得者で医療費控除またはふるさと納税等の寄付金控除を申告する方はスマホ専用画面から簡単に行えるそうです。地震・台風等の災害で住宅や家財などに損害を受けた時は、確定申告等で「災害減免法」に定める税金の軽減免除

よい歯のコンクール

H31.4.24

四月二四日(水)、午後一時三十分より北区保健福祉センターにて「第六八回全大阪よい歯のコンクール」北区代表者選考会が行われました。

今回は平成三十年度の三歳児健診を受けられた九六〇名の中から親子ともに健康的な「よい歯」を保たれていると健診時に判断された四組の親子に会場いただきました。

当日は硬組織・歯肉・咬合・清掃状態などの厳正な審査の上、最優良一組、優

良一組の親子を選出しました。その後、表彰式へと移り、はじめに梅垣大淀歯科医師会会長の挨拶、半羽北区役所医務主幹による表彰状と記念品の授与、最後に佐々木北区歯科医師会副会長の総評にて幕を閉じました。

なお、最優良の親子には北区代表として、六月十五日に開催される全大阪よい歯のコンクール中央審査会にご参加いただくことになりました。

(常務理事・樋口春彦)

菅南幼稚園 歯みがき指導

R元.6.12

令和元年の歯の衛生週間行事として、大阪市立菅南幼稚園に於いて六月十二日(水)、午前九時四十分より十一時二十分まで歯みがき指導と講演会を行った。

大阪府歯科衛生士会の永井さん、宮坂さんが四才児五才児を対象にパネル等を使

った歯みがき指導を行い、続いて染め出しをして保護者にチャートに記入してもらった後、親子歯みがきを行った。同じく林さんが三才児の歯みがき指導と親子歯みがきを行った。今年も

北歯ゴルフ同好会春季コンペ

H31.4.14

四月十四日(日)、北歯ゴルフ同好会の春季コンペが、西宮高原ゴルフ倶楽部で開催されました。

今回参加者はメンバー十一名に加え、新たに二名のメンバーが加わり、また大淀歯科医師会と薬剤師会からビジター三名の計十六名の参加でした。

当日は、桜の花が咲く中、曇り空のもとスタートしました。お昼休憩前から小雨が降り始めましたが、終わ

つてみれば天候も落ち着き、皆さまのおかげで楽しく終えることが出来ました。

成績は今回、樋口夏彦が初優勝！、田中康隆先生が準優勝、矢追秀純先生が三位という結果になりました。

次回の秋季コンペは九月二九日(日)、伏尾ゴルフ倶楽部にて開催予定です。

和気あいあいと活動しておりますので、初心者の方先生でもお気軽にご参加をお待ちしております。尚、ゴルフ同好会への入会を希望される先生は、ほくし事務所までご連絡をお

願ひ致します。

(樋口夏彦)



令和元年度・北歯ゴルフ同好会春季コンペ成績

RANK	NAME	OUT	IN	GROSS	HCP	NET	次回HCP
優勝	樋口夏彦	53	50	103	24.0	79.0	17
準優勝	田中康隆	49	48	97	10.0	87.0	8
3位	矢追秀純	55	47	102	14.0	88.0	13
4位	石田憲嗣	56	62	118	30.0	88.0	
5位	大塚俊裕	49	56	105	16.0	89.0	
6位	岡田修二	50	58	108	17.0	91.0	18
7位	高麗誠紀	55	56	111	20.0	91.0	21
8位	松井重文	52	50	102	8.0	94.0	9
9位	天羽隆	63	72	135	40.0	95.0	41
10位	梅垣輝生	59	48	107	10.0	97.0	11
11位	上田佳世	69	66	135	36.0	99.0	37
12位	橋本哲志	55	59	114	10.0	104.0	12
13位	三輪佳子	87	80	167	63.0	104.0	65
14位	吉田皓	61	54	115	10.0	105.0	12
15位	水沼和夫	77	69	146	39.0	107.0	41
16位	草分孝子	68	64	132	24.0	108.0	26

※北歯コンペは、同ネットの場合の順位はハンディ上位、年齢上位、女性上位の順で決定します。敬称略／順不同

みおつくしの会

R元.6.8

前日の雨が嘘のように上がり、おだやかな晴天に恵まれた六月八日(土)、ブリーゼブリーゼの六階・うおまん西梅田店にて、十二名の「ご長寿の先生方」にご出席いただき、北園「みおつくしの会」が開催されました。

開会にあたり大塚会長の挨拶があり、「みおつくしの先生方にはお休みになりたいであろう土曜日の午後にもかかわらず、わざわざお越しいただき本当にありがとうございます。」とございます。私も黒川執行部で初めて理事にさせていただきました、高麗執行部を経て会長になり早四年が経ちました。理事職になり二十数年になりますが、若い人達に繋げることが最後の役目だと思い、もう一期だけ続けることにしました。みおつくしの先生方におかれましては、私たちの道しるべになっていただき、温かいご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。開催の挨拶とさせていただきます」と述べられました。その後、大塚禮三先生の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

割烹・懷石の職人が作る日本料理をいただきながら、

和やかな歓談の中、今年八十歳を迎えになる黒川森夫先生へ、「ご長寿祝」が大塚会長より贈呈されました。(尚、「ご長寿祝」該当の上田祐嗣先生、大西馨先生、吉田興二先生には郵送させていただきました)続いて各先生方のご近況を伺うことができました。予定時間が瞬く間に過ぎて、最後に野口副会長の挨拶の後、記念撮影を行い祝宴が



終了しました。

ご出席の先生方本当にありがとうございました。

ご出席いただいたのは大塚禮三先生、西川亨先生、加納晴彦先生、黒川森夫先生、橋本收先生、中谷勝先生、吉田睦先生、東郷達夫先生、矢追秀純先生、長谷川泰彦先生、水沼和夫先生、宮博文先生の十二名の先生方でした。
【執行部出席者】大塚会長、野口副会長、佐々木副会長、中川副会長、大浦専務、岡田常務、天羽常務、土岐常務、國田理事、三輪監事(担当理事・國田浩之)

新入会員

6班・上田 優貴子

(愛知学院大平成十七年卒)



(診) 公益財団法人田附興風

会医学研究所北野病院

扇町二一四一二十

8班・新原 拓也

(朝日大平成二十年卒)



(診) 医療法人宏仁会毎日

デンタルクリニック

梅田三四五 毎日インテシオ四階

9班・谷本 育美

(明海大・平成十九年卒)



(診) 藤田歯科医院

小松原町一二七

梅田エビスビル七階

訃報



三浦康宏 先生(班外)

二〇一九年二月十五日死去

御略歴

昭和五年四月十六日生

昭和二十七年

大阪歯科大学専門学校卒業



辻 潔 先生(5班)

二〇一九年三月十四日死去

御略歴

昭和十一年三月三十一日生

昭和三十八年

大阪歯科大卒業

(診療所)

辻歯科医院

天神橋四一八一八 平川ビル二階



猪木一成 先生(8班)

二〇一九年四月二十日死去

御略歴

昭和六年十一月二日生

昭和三十二年

大阪歯科大卒業

(診療所)

猪木歯科堂島診療所

堂島浜二二二二八 堂島

アクシスビルB一階



安田清子 先生(班外)

二〇一九年五月十五日死去

御略歴

大正十一年四月十日生

昭和二十七年

大阪歯科大学専門学校卒業

編集後記

第三次大塚執行部が発足しました。どうぞよろしく願います。